

在勤ノ領事並勤方タル旨佛蘭西公使館員 Brin ヨリ幕府箱館奉行宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

○右ニ對シ同年七月十九日(八月十八日)附ノ書翰ヲ以テ幕府箱館奉行杉浦兵庫頭ヨリ右佛蘭西公使館員宛承諾ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

○右書翰ニハ外國語ニ依ル資格ハ明ラカナラサルモ明治六年三月二日(一八七三年三月二日)附ノ書翰ヲ以テ同人カ箱館在勤ノ Agent consulaire ヲ離任シタル旨佛蘭西臨時代理公使 De Turenne ヨリ外務卿副島種臣宛通知シ來レルヲ以テ Agent consulaire ナリシモノト認メラル

在勤明治元年後ニ及フ

○丁抹國及瑞西國ノ部參照

在 神 戶

VIAULT (代辨副領事)

○任命及着任ノ期不明ナルモ明治元年十二月二十日(一八六九年二月一日)附ノ書翰ヲ以テ兵庫在勤ノ Agent vice-consulaire タル同人ノ死去シタル旨佛蘭西全權公使 Outrey ヨリ外國官副知事東久世通禧宛申越シ居レリ

ROUSSET (副領事事務取扱 假リニ此ノ名稱ヲ付ス)

明治元年十二月二十日(一八六九年二月一日)附ノ書翰ヲ以テ副領事不在中兵庫副領事館ノ

事務取扱ヲ命シタル旨佛蘭西全權公使 Outrey ヨリ外國官副知事東久世通禧宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

在 長 崎

GAYMANS (領事)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格モ明ラカナラサルモ本編三七七文書ニハ領事ト和譯シアリ

在 大 阪

LEQUES (代辨領事)

大阪開港ヨリ在大阪副領事トシテ着任ス

(大阪市史)

附録三 明治元年本邦駐在各国外交官及領事官人名録 (佛蘭西)

二〇

○着任及資格ニ付大阪市史ニハ大阪開港ヨリ副領事トシテ在任ストアルモ明治元年閏四月二十八日(一八六八年)附佛蘭西全權公使Outreyヨリ神奈川裁判所副總督鍋島直大宛ノ來翰中ニ數ヶ月横濱ニ滞在セシ大坂在勤ノAgent consulaireタルLévesqueハ任地大坂ニ歸リタル旨記載アルヲ以テ此處ニテハ代辨領事ト和譯シ置ケリ

在勤明治元年後ニ及フ

在横濱

STANISLAS DE LAPEYROUSE (領事代理)

○任命及着任ノ期不明且ツ外國語ニ依ル資格確實ナラサルモ明治元年十二月二十六日(一八六五年)附ニテ同人ヲ横濱在勤ノChargé des Affaires consulairesト記シタル佛蘭西全權公使Rochesヨリノ來翰慶應二年八月(日缺)附ニテVice-Consulト記シタル同人宛ノ往翰及明治元年五月十九日(一八六八年)附ニテConsul déléguéト記シタル同人ヨリノ來翰アリ

在勤明治元年後ニ及フ

英吉利國

公使

SIR HARRY SMITH PARKES, K. C. B. (特命全權公使兼總領事)

元慶應 閏五月十八日 (一八六五年) (七月十日) 附 [同月十九日 (七月十一日) 接受] ノ書翰ヲ以テ日本駐劄ノ Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary and Consul General ニ任セラレ 閏五月十六日 (七月八日) 横濱ニ到着シタル旨同人ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

元明治 閏四月一日 (一八六八年) (五月二十二日) 信任狀ヲ捧呈ス

駐劄明治元年後ニ及フ

公使館員

SIDNEY LOCOCK (書記官)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ慶應二年六月二十一日(一八六八年) 附ニテ Secretary ト記シタル同人ヨリノ來翰アルヲ以テ書記官ナリシモノト認メラル

附録三

明治元年本邦駐在各国外交官及領事官人名録 (英吉利)

二一

ALGERNON BERTRAM FREEMAN MITFORD (書記官)

慶應二年九月八日 (一八六六年) 2nd Secretary ニ任セラレ江戸在勤トナル

(英國外務省年鑑)

FRANCIS OTTIVELL ADAMS (書記官)

慶應三年十二月十二日 (一八六八年) 日本在勤ノ Secretary ニ任セラル

(英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

ERNEST MASON SATOW (通譯官後ニ書記官)

慶應元年三月六日 (一八六五年) Interpreter for the Japanese Language (日本在勤)ニ任

セラル

(英國外務省年鑑)

慶應三年六月四日 (一八六七年) 附ノ書翰ヲ以テ同人ハ書記官 Eusden 不在中

Acting Secretary ヲ命セラレタル旨本人ヨリ幕府外國奉行

宛通知シ來ル

同年十二月七日 (一八六八年) Japanese Secretary ニ任セラル

(英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

ALEXANDER GEORG GUSTAV VON SIEBOLD (通譯官兼翻譯官)

慶應三年十二月七日 (一八六八年) 江戸ノ公使館附ノ Interpreter and Translator ニ任

セラル

(英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

JAMES TROUP (補助官)

慶應元年八月二十日 (一八六五年) 3rd Assistant (日本在勤)ニ任セラル

(英國外務省年鑑)

慶應三年十二月七日 (一八六八年) 2nd Assistant ニ任セラル

(英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

領事

在函館

RICHARD EUSDEN (領事代理後ニ領事)

三慶應 六月四日 (一八六七年七月五日) 附ノ書翰ヲ以テ同人ハ箱館在勤ノ領事 Gower 歸國不在中同所ノ Acting Consul タル旨英吉利公使館員 Satow ヨリ幕府外國奉行宛通知シ來ル

同年六月(日缺) 附ノ書翰ヲ以テ同人ハ六月十二日 (七月十三日) ニ着任シタル 旨箱館奉行杉浦兵庫頭ヨリ外國總奉行並等宛通知ス (續通信全覽類輯)

同年十二月七日 (一八六八年一月一日) Consul ニ任セララル (英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

○和蘭國ノ部參照

在神戸及大阪

DR. FRANCIS GERHARD MYBURGH (領事)

三慶應 十二月七日 (一八六八年一月一日) 神奈川在勤ノ Consul ヨリ兵庫及大阪在勤ノ Con-

sul ニ轉ス (英國外務省年鑑)

ABEL ANTHONY JAMES GOWER (領事)

元明治 五月二十日 (一八六八年七月九日) 長崎在勤ノ Consul ヨリ兵庫及大阪在勤ノ Consul

ニ轉ス (英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

JOHN FREDERIC LOWDER (副領事)

三慶應 十二月七日 (一八六八年一月一日) Interpreter ヨリ兵庫及大阪在勤ノ Vice-Consul ニ

轉ス (英國外務省年鑑)

○大阪市史ニハ慶應三年十二月七日 (一八六八年一月一日) 大阪在勤ノ副領事トシテ來任ス トノ記載アリ

元明治 十一月十一日 (一八六八年十二月二十四日) 附ノ書翰ヲ以テ同人ニ新潟在勤ノ Consul

ノ職務ヲ行フヘキコトヲ命シタル旨英吉利特命全權公使 Parkes ヨリ外國官知事伊達宗城等宛通知シ來ル

RUSSELL BROOKE ROBERTSON (副領事代理)

元明治 四月十三日 (一八六八年五月五日) 大阪在勤ノ代辨副領事トナル (大阪市史)

○資格ハ大阪市史ニハ代辦副領事ト和譯シアルモ英國外務省年鑑ニハ Acting Vice-Consulト記載シ居レルヲ以テ此處ニテハ副領事代理ト和譯セリ

在勤明治元年後ニ及フ

在長崎

ABEL ANTHONY JAMES GOWER (領事)

慶應 四月五日 (一八六七年) 長崎在勤ノ Consulニ任セラル (英國外務省年鑑)

明治 五月二十日 (一八六八年) 兵庫及大坂在勤ノ Consulニ轉ス (英國外務省年鑑)

MARCUS OCTAVIUS FLOWERS (領事)

明治 五月二十日 (一八六八年) 長崎在勤ノ Consulニ任セラル (英國外務省年鑑)

在勤明治元年後ニ及フ

在新潟

JOHN FREDERIC LOWDER (領事代理)

明治 十一月十一日 (一八六八年) 附ノ書翰ヲ以テ同人ニ新潟在勤ノ Consul

ノ職務ヲ行フヘキコトヲ命シタル旨英吉利特命全權公使 Parkes ヨリ外國官知事伊達宗城等宛通知シ來ル

○尙明治二年一月一日 (一八六九年) 附ノ同人ヨリノ來翰ニハ Acting Consulト記シアルニ付資格ハ領事代理ナリシモノト認メラル

在勤明治元年後ニ及フ

在橫濱及東京

LACHLAND FLETCHER (領事)

明治 二月四日 (一八六八年) 附ノ書翰ヲ以テ神奈川及江戸ニ於ケルコン

シユルニ任セラレタル旨本人ヨリ舊幕府神奈川奉行水野若狹守等宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

○右ニ對シ同年三月五日 (三十八日) 附ノ書翰ヲ以テ舊幕府神奈川奉行水野若狹守等ヨリ同人宛了承ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

○前記ノ如ク廢止セラレタル幕府へ就任ヲ通知シ來レルモ以後新政府トノ間ニ於

テモ領事トシテ行動シ居レリ

在勤明治元年後ニ及フ

WILLIAM M. WILLIS (副領事)

慶應 十二月七日 (一八六八年) 江戸及神奈川在勤ノ Vice-Consul ニ任セラル

(英國外務省年鑑)

元明治 十一月十一日 (一八六八年) 附ノ書翰ヲ以テ横濱及東京在勤ノ Vice-Consul

タル 同人ハ十一月十九日ヨリ東京ニ駐在スヘキ旨英吉利

特命全權公使 Parkes ヨリ外國官知事伊達宗城等宛通知シ

來ル

在勤明治元年後ニ及フ

伊太利國

公使

CONTE VITTORIO SALLIER DE LA TOUR (特命全權公使)

慶應 五月十一日 (一八六七年) 附[同月十三日(十五日)接受]ノ書翰ヲ以テ Envoyé

extraordinaire et Ministre plénipotentiaire ニ任セラレ横濱ニ到

着シタル旨本人ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

元明治 十一月二十二日 (一八六九年) 信任狀ヲ捧呈ス

駐劄明治元年後ニ及フ

公使館員

CONTE M. ARESE (書記官)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ慶應三年八月十三日(一八六七年)

附ニテ Secrétaire ト記シタル同人ヨリノ來翰アルヲ以テ書記官ナリシモノト認めラル

在勤明治元年後ニ及フ

BARON GALVAGNA (書記官)

元明治 十二月七日 (一八六九年) 附ノ書翰ヲ以テ Secrétaire トシテ着任シタル旨

伊太利特命全權公使 De La Tour ヨリ外國官副知事東久世

通禮宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

L. SAVIO (書記生)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ明治元年十月十三日 (一八八六年十一月二日) 附ニテ同人ヲ Chancelier ト記シタル伊太利特命全權公使 De La Tour ヨリノ來翰アルヲ以テ書記生ナリシモノト認メラル

領事

在横濱

CHEVALIER CHRISTOPHE ROBECCI (領事)

慶應三年六月九日 (一八六七年七月十日) 附〔同月十五日 (七月十六日) 接受〕ノ書翰ヲ以テ神奈川

在勤ノ Consul ニ任セラレ横濱ニ到着シタル旨伊太利特命全權公使 De La Tour ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年七月五日 (八月四日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中兼外國總裁小笠原壹岐守ヨリ伊太利特命全權公使宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

和 蘭 國

公 使

DIRK DE GRAEFF VAN POLS BROEK (總領事兼外交事務官後ニ辨理公使)

文久三年九月二十三日 (一八六三年十一月四日) 附〔同月二十四日 (十一月五日) 接受〕ノ書翰ヲ以テ日

本在勤ノ Consul General en Politiek Agent (總領事兼外交事務官)ニ任セラレ且ツ公使館員竝ニ領事ノ任命權ヲ與ヘラレタル旨本人ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

明治元年七月二十五日 (一八六八年九月十一日) 附ノ書翰ヲ以テ Minister Resident ニ任セラレタル旨本人ヨリ外國官知事伊達宗城宛通知シ來ル

同年十一月二十二日 (一八六九年一月四日) 信任狀ヲ捧呈ス

駐劄明治元年後ニ及フ

○丁抹國ノ部參照

公 使 館 員

L. T. KLEINTJES (書記生)

元應 十一月二十九日 (一八六六年) 附 [同年十二月一日 (十七日) 接受] ノ書翰ヲ以テ
同人ヲ Kanselier (書記生)ニ任シタル旨和蘭外交事務官 Van
Polbroek ヨリ幕府外國奉行宛通知シ來ル

領事

在 函 館

RICHARD EUSDEN (領事事務取扱假リニ此ノ名稱ヲ付ス)

三應 六月 (日缺) 附 [同年七月二十七日 (一八六七年) 八月二十六日] 接受] ノ書翰ヲ以テ箱館
奉行杉浦兵庫頭ヨリ外國總奉行並等宛同人ハ英吉利 Acting
Consul トシテ六月十二日 (十三日) 着任シ同時ニ和蘭國ノ領
事ノ職務ヲモ取扱フヘキ旨申出タル趣ヲ通知ス

○英吉利國ノ部參照

(續通信全覽類輯)

在 神 戶

A. I. BAUDUIN (領事)

三應 十一月二十八日 (一八六七年) 附 [同年十二月十六日 (一八六八年) 十月十日] 接受] ノ書翰
ヲ以テ同人ヲ兵庫在勤ノ Consulニ任シタル旨和蘭外交事
務官 Van Polbroek ヨリ幕府老中板倉伊賀守宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年十二月十七日 (十一月十一日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中板倉伊賀守ヨリ和蘭
外交事務官宛承諾ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

在 長 崎

F. P. TOMBRINK (領事)

三應 十一月二十八日 (一八六七年) 附 [同年十二月十六日 (一八六八年) 十月十日] 接受] ノ書翰
ヲ以テ同人ヲ長崎在勤ノ Consulニ任シタル旨和蘭外交事
務官 Van Polbroek ヨリ幕府老中板倉伊賀守宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年十二月十七日 (十一月十一日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中板倉伊賀守ヨリ和蘭

外交事務官宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

明治八年八月二十四日 (一八六八年十月九日) 附ノ書翰ヲ以テ更ニ同人ニ長崎在勤ノ Consul

ヲ申付ケタル旨和蘭辨理公使 Van Polsbroek ヨリ外國官知事伊達宗城宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年九月三日 (十八日) 附ノ書翰ヲ以テ外國官知事伊達宗城ヨリ和蘭辨理公使宛承諾ノ旨回答ス

在勤明治元年後ニ及フ

在大阪

P. E. PISTORIUS (副領事)

慶應三年十一月二十八日 (一八六七年十二月二十三日) 附(同年十二月十六日) (一八六八年一月十日) 接受ノ書翰

ヲ以テ同人ヲ大坂在勤ノ Vice-Consul ニ任シタル旨和蘭外交事務官 Van Polsbroek ヨリ幕府老中板倉伊賀守宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年十二月十七日 (十一月十一日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中板倉伊賀守ヨリ和蘭

外交事務官宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

在橫濱及東京

W. M. VAN DER TAK (領事)

慶應三年四月九日 (一八六七年五月十二日) 附(同月十七日) (五月二十日) 接受ノ書翰ヲ以テ同人ハ

神奈川在勤ノ Consul ニ任セラレタル旨和蘭外交事務官 Van Polsbroek ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年四月二十五日 (五月二十八日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中井上河内守等ヨリ和蘭外交事務官宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

明治十一年十一月十五日 (一八六八年十二月二十八日) 附ノ書翰ヲ以テ同人ハ神奈川及東京在勤ノ

Consul ヲ命セラレタル旨和蘭辨理公使 Van Polsbroek ヨリ外國官知事伊達宗城宛通知シ來ル

○明治二年三月二十二日 (一八六九年五月三日) 附ノ書翰ヲ以テ更ニ右ト同文意ノ通知本人ヨリ外國官判事町田民部宛來リ之ニ對シ同年三月二十七日 (五月八日) 附ノ書翰ヲ以テ外國

官判事町田民部ヨリ同人宛承諾ノ旨回答ス

在勤明治元年後ニ及フ

R. A. MEES (副領事)

明治元年十一月十五日

(一八六八年)附ノ書翰ヲ以テ同人ハ東京在勤ノ副コンシ

ユルニ任セラレタル旨和蘭辨理公使 Van Polsbroek ヨリ外

國官知事伊達宗城宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

葡萄牙國

公使

JOSÉ MARIA DA PONTE HORTA (全權公使)

慶應二年九月十九日

(一八六六年)附(發信地瑪港)〔同年十月二十一日(二十七日)接

受〕ノ書翰ヲ以テ屬地(瑪港)ノ Governador (總督)兼日本支那及

暹羅ニ對スル Ministro Plenipotenciario (全權公使)ニ任セラレ

タル旨本人ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

ANTONIO SERGIO DE SOUZA (全權公使)

明治元年六月十六日

(一八六八年)附(發信地瑪港)ノ書翰ヲ以テ屬地(瑪港)チモール

等)ノ Governor 兼日本支那及暹羅ニ對スル Minister Plenipo-

tentiaryニ任セラレタル旨本人ヨリ元舊幕府老中兼外國總

裁小笠原壹岐守宛通知シ來ル

○右ニ對シ八月九日(九月二十四日)附ニテ神奈川府知事東久世通禧ヨリ同人宛了承ノ旨回

答ス

在任明治元年後ニ及フ

領事

在 函 館

ALFRED HOWELL (領事)

明治元年七月四日

(一八六四年)附(發信地瑪港)ノ書翰ヲ以テ同人ハ箱館在勤ノ

Consulニ任セラレタル旨瑪港總督兼葡萄牙全權公使 Da Ama-

1st ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年八月十五日(九月十五日)附ノ書翰ヲ以テ幕府老中水野和泉守ヨリ葡萄牙全權公使宛了承ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

同年八月一日(九月一日)附[同年八月四日(九月四日)接受]ノ書翰ヲ以テ同人ハ箱館在勤ノ Consul ニ任セラレタル旨神奈川在勤葡萄牙領事代理 Kingdon ヨリ幕府外國奉行宛通知シ來ル

同年八月二十四日(九月二十四日)附(同日接受)ノ書翰ヲ以テ箱館在勤ノ領事ニ任セラレタル旨本人ヨリ箱館奉行宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

明治元年八月二十八日(一八六八年十月十三日)附(發信地瑪港[明治二年四月二十日(一八六九年五月三十一日)接受])ノ書翰ヲ以テ同人ハ領事ヲ辭職シタル旨瑪港總督兼葡萄牙全權公使 De Souza ヨリ外國官知事宛通知シ來ル

WILLIAM G. HOWELL (副領事)

明治元年八月二十八日(一八六八年十月十三日)附(發信地瑪港[明治二年四月二十日(一八六九年五月三十一日)接受])

ノ書翰ヲ以テ同人ニ箱館在勤ノ Vice-Consul ヲ命シタル旨瑪港總督兼葡萄牙全權公使 De Souza ヨリ外國官知事宛通知シ來ル

○右ニ對シ明治二年四月附(同年四月二十九日(一八六九年六月九日)達ス)ノ書翰ヲ以テ外國官知事伊達宗城等ヨリ葡萄牙全權公使宛了承ノ旨回答ス
在 長 崎

J. LOUREIRO (領事)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格モ明ラカナラサルモ本編三七七文書ニハ領事ト和譯シアリ

在勤明治元年後ニ及フ

在 橫 濱 及 東 京

EDWARD LOUREIRO (領事)

慶應三年十二月十六日(一八六八年一月十日)附[同月十八日(十二月十二日)接受]ノ書翰ヲ以テ神奈川在勤ノ Consul ニ任セラレタル旨本人ヨリ舊幕府外國奉行宛通知シ來ル

附錄三

明治元年本邦駐在各國外交官及領事官人名錄 (葡萄牙、普魯西)

四〇

○右ニ對シ同年十二月十八日(十二月)附ノ書翰ヲ以テ舊幕府外國奉行江連加賀守等ヨリ本人宛了承ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

○前記ノ如ク廢止セラレタル幕府へ就任ヲ通知シ來レルモ以後新政府トノ間ニ於テモ領事トシテ行動シ居レリ

明治十二年十二月十五日(一八六九年)附(發信地瑪港)ノ書翰ヲ以テ江戸在勤ノ Acting

Consulヲ兼務スヘキ旨瑪港總督兼葡萄牙全權公使 De Souza

ヨリ外國官知事宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

普魯西國、獨逸北部聯邦國

公使

MAX AUGUST SCIPIO VON BRANDT (普魯西代理公使後ニ獨逸北部聯邦代理公使兼總領事)

慶應三年三月十日(一八六七年)附(同月十一日)附(四月十五日)接受ノ書翰ヲ以テ日本駐

劄ノ普魯西 Geschäftsträger (代理公使)ニ任セラレ三月九日

(四) 十三日(横濱ニ到着シタル旨本人ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○同人ハ文久二年十一月九日(一八六二年)附(同年十一月十二日)附(一八六三年)接受ノ書

翰ヲ以テ神奈川在勤ノ Consulヲ命セラレタル旨幕府老中水野和泉守等宛通知シ

來リ右ニ對シ同年十一月三十日(十一月)附(幕府老中水野和泉守等ヨリ同人宛承諾

ノ旨回答ス(續通信全覽類輯)

其後一旦歸國シ慶應三年更ニ渡來シタルモ此時ノ通知ニハ同人ノ資格ハ前記ノ

如ク Geschäftsträger トノミ記載アリ然ルニ本編五二五附屬書ニ依レハ、 bisherigen

Preussischen Consul und Geschäftsträger タリシ同人ヲ獨逸北部聯邦ノ Geschäftsträger und

General-Consulニ任シタル旨ノ記載アルヲ以テ夫レ迄ハ少クトモ其ノ本國ニ於テ

ハ同人ニ右普魯西領事兼代理公使ノ資格ヲ與ヘ居タルモノト考ヘラル

明治八年八月十八日(一八六八年)附ノ書翰ヲ以テ日本駐劄獨逸北部聯邦Geschäfts-

träger und General-Consul (代理公使兼總領事)ニ任セラレタ

ル旨本人ヨリ外國官知事伊達宗城等宛通知シ來ル

駐劄明治元年後ニ及フ

公使館員

附錄三

明治元年本邦駐在各國外交官及領事官人名錄 (普魯西)

四一

I. HENRY SCHNELL (書記官)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ慶應元年十二月四日(一八六六年一月二十日)附ニテ Secretaris (書記官)ト記シタル同人ヨリノ來翰アルヲ以テ書記官ナリシモノト認メラル

慶應三年十二月二十二日(一八六八年一月十六日)附ノ書翰ヲ以テ同人ノ離任シタル旨普魯西公使館員 Berlin ヨリ舊幕府在大坂外國奉行宛通知シ來ル

DR. G. BERLIN (書記官)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ慶應三年十二月二十二日(一八六八年一月十六日)附ノ書翰ヲ以テ以後 Secretary ヘノ書翰ハ總テ同人宛トセラレタキ旨本人ヨリ舊幕府在大坂外國奉行宛通知シ來リ尙以後我方ヨリノ書翰ニハ同人ヲ書記官ト記シ居レルヲ以テ假ニ書記官ト認ム

P. E. KEMPERMANN (通譯官)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格ニ關シテハ明治元年七月廿八日(一八六八年九月十四日)附ニテ同人ヲ Dolmetscher (通譯官)ト記シタル普魯西代理公使 Von Brandt ヨリノ來翰アルヲ以テ通譯官ナリシモノト認メラル

在勤明治元年後ニ及フ

領事

在函館

C. GAERTNER (副領事)

慶應元年十一月十七日(一八六六年一月三日)附(同月十八日(一月四日)接受)ノ書翰ヲ以テ同人ハ箱館在勤ノ普魯西 Vice-Consul ニ任セラレタル旨神奈川在勤普魯西領事 Von Brandt ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年十一月二十三日(一月九日)附ノ書翰ヲ以テ幕府老中水野和泉守ヨリ右領事宛承諾ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

同年十二月二十八日(二月十三日)附(同月二十九日(二月十四日)接受)ノ書翰ヲ以テ箱館在勤ノ普魯西 Vice-Consul ニ任セラレタル旨本人ヨリ箱館奉行小出大和守宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

在長崎

RICHARD LINDAU (領事)

慶應三年四月六日 (一八六七年) 附[同月八日(五月)接受]ノ書翰ヲ以テ同人ハ長

崎在勤ノ普魯西 Consulニ任セラレタル旨普魯西代理公使 Von Brandt ヨリ幕府老中宛通知シ來ル

○右ニ對シ同年四月二十五日(五月二十八日)附ノ書翰ヲ以テ老中松平周防守等ヨリ普魯西代理公使宛承諾ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

在大阪及神戸

AUGUST EVERS (代辨領事)

慶應三年十二月七日 (一八六八年) 附[同日接受]ノ書翰ヲ以テ本國ヨリ任命通知到

着迄大坂及兵庫在勤ノ普魯西 Consular-Agent ヲ命シタル

旨神奈川在勤普魯西領事 Von Brandt ヨリ幕府老中板倉伊賀守宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

IWERSEN (副領事)

明治元年七月二十八日 (一八六八年) 大阪在勤ノ普魯西副領事トシテ着任ス (大阪市史)

○外國語ニ依ル資格明ラカナラサルモ大阪市史ニハ副領事ト和譯シアリ

在勤明治元年後ニ及フ

在横濱

Ad. REIS (領事代理)

○任命及着任ノ期不明、外國語ニ依ル資格ニ關シテハ明治元年六月十三日(一八六八年) 附ニテ Acting Consulト資格ヲ記シタル同人ヨリノ來翰アルヲ以テ領事代理ナリ

シモノト認メラル

在勤明治元年後ニ及フ

露西亞國

領事

在函館

ЕВГЕНИЙ БЮДОВЪ (EUGENIE BÜTZOW) (領事)

慶應 元應 七月 八 日 (八月二十五日) 附 [同月九日 (八月二十九日) 接受] ノ書翰ヲ以テ箱館在

勤ノ КОНСУЛЬ (領事)ヲ命セラレタル旨本人ヨリ幕府老中宛通
知シ來ル

(續通信全覽類輯)

○右書翰ニハ通知ノ日附ヲ「一八六五年八月十六日」ト記シアリ、太陽曆ナリヤ露曆ナ
リヤハ明ラカナラサルモ當時ノ露西亞側ノ文書ノ日附ハ普通露曆ヲ記載セルト
我方受理ノ日ヨリ考ヘ右文書日附竝ニ後述ノ文書ノ各日附ハ之ヲ露曆ト認メタリ
○右ニ對シ同年七月十一日 (八月三十一日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中水野和泉守ヨリ同人
宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

同年 八月 一日 (九月二十日) 附 (同日接受) ノ書翰ヲ以テ箱館ニ到着シタル旨本人
ヨリ箱館奉行宛通知シ來ル

(續通信全覽類輯)

在勤明治元年後ニ及フ

在 長 崎

長崎在勤ノ佛蘭西領事ヨリ露西亞人關係ノ事務ヲ取扱フ旨通知シ來ル

萬延 元延 三月 九 日 (三月二十六日) 附 (同日接受) ノ書翰ヲ以テ露西亞領事滞在無之

內露西亞人長崎へ渡來ノ節ハ諸事取計ヒ方申付ラレシ旨
長崎在勤ノ佛蘭西領事 Mackenzie ヨリ長崎奉行宛通知シ
來ル

(續通信全覽類輯)

○右申出ニ對シテハ幕府職員ニ於テ本件ハ箱館在勤ノ露西亞領事及佛蘭西公使ヨ
リモ申出ツヘキ筋合ノモノト認メラルルニ付右兩者へ照會ヲ要ストノ意見附記
シアリ而モ其後ノ處置ニ關スル文書ナシ從ツテ其ノ結末ハ明ラカナラス

АЛЕКСАНДРЪ ФИЛИПЕУСЪ (ALEXANDRE FILIPEUS) (代辨領事)

明治 元治 八月 六 日 (八月二十六日) 附ノ書翰ヲ以テ長崎在勤ノ КОНСУЛЬСКИИ АГЕНТЪ

(代辨領事)タル旨箱館在勤露西亞領事 БЮДОВЪ ヨリ外國官
知事宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

瑞 西 國

領 事

各開港場ニ於ケル和蘭領事ハ瑞西領事ヲ兼務ス

元治 一月 五日 (一八六四年) 附[同月八日(十五日) 接受]ノ書翰ヲ以テ各開港場

在勤ノ和蘭領事ヲ同開港場ノ瑞西領事ノ職ニ任シタル旨
和蘭外交事務官兼瑞西總領事 Van Polsbroek ヨリ幕府老中
宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

○右ニ對シ同年一月十二日(十九日) 附ノ書翰ヲ以テ幕府老中板倉周防守等ヨリ和蘭
外交事務官兼瑞西總領事宛承諾ノ旨回答ス (續通信全覽類輯)

○右ニ基キ瑞西領事ノ任命アル迄ハ各開港場在勤和蘭領事ニ於テ瑞西領事ヲ兼務
シタルモノト認メラル

在 國 館

JOHN HENRY DIEUS (領事代)

應 應 三月 四月 十八日 (一八六七年) 附(同日接受)ノ書翰ヲ以テ四月十八日(五月二十一日)

ヨリ箱館在勤ノ領事代トシテ着任シタル旨本人ヨリ箱館
奉行杉浦兵庫頭宛通知シ來ル (續通信全覽類輯)

○外國語ニ依ル資格不明ナルモ續通信全覽類輯ニハ領事代ト和譯シアリ
○丁抹國竝ニ佛蘭西國ノ部參照

在 長 崎

F. P. TOMBRINK (領事)

○任命及着任ノ期不明外國語ニ依ル資格モ不明ナルモ本編三七七文書ニハ領事ト
和譯シアリ

在 勤 明 治 元 年 後 ニ 及 ブ

○和蘭國ノ部參照

在 橫 濱

H. SIBER (總領事代理)

慶 慶 三年 七月 二十四日 (一八六七年) 附(同日接受)ノ書翰ヲ以テ同人ハ橫濱在勤ノ

瑞西總領事 Brennwald 近日歸國ニ付其ノ不在中同所 Acting
Consul-General タルヘキ旨同總領事ヨリ幕府老中宛通知シ
來ル

附錄三 明治元年本邦駐在各國外交官及領事官人名錄 (瑞西)

五〇

○右ニ對シ同年八月六日(九月三日)附ノ書翰ヲ以テ幕府外國奉行江連加賀守等ヨリ右總領事宛承諾ノ旨回答ス

(續通信全覽類輯)

同年七月二十四日(八月十三日)附(同日接受)ノ書翰ヲ以テ横濱在勤ノ Acting Consul-

General トシテ七月二十四日(八月十三日)ヨリ事務ヲ取扱フ

キ旨本人ヨリ幕府外國奉行宛通知シ來ル

在勤明治元年後ニ及フ

附錄三 明治元年本邦駐在各國外交官及領事官人名錄 終

附錄四 大日本外交文書第一卷事項別索引

凡 例

一、本附録ハ、大日本外交文書第一卷ニ輯録セル文書ニシテ同一事項ニ關係セルモノノ通覽ニ資スル爲、各文書ヲ其ノ内容ニ基キ主要ナル事項ニ分類シ、其ノ番號ヲ該當事項ノ下ニ列記シタルモノナリ。

一、事項ノ分類ハ、研究ノ便宜ヲ考慮シ、一個ノ事件トシテ認メ得ルモノハ、成ル可ク之ヲ獨立ノ事項トシテ掲ケ、其ノ他稍抽象的標準ニヨリ分類セラレヘキ性質ノモノハ、内容ノ輕重及廣狹ヲ計リテ適宜ニ之ヲ分類セリ。從ツテ分類セラレタル各個ノ事項相互ノ關係ニ於テ、或事項ハ他ノ一層廣汎ナル事項ノ一部ヲ爲スモノアリ(例ヘハ事項第五號及第六號ノ第四號ニ於ケル又第一八號及第一九號ノ第一七號ニ於ケルカ如シ)。又或事項ハ他ノ事項ノ一部ヲ爲スニアラサルモ、其ノ關係密接ニシテ此レカ研究ニハ他ノ事項ヲモ考慮ヲ要スルモノアリ(例ヘハ事項第一七號ト第四一號トノ關係ノ如シ)。以上ノ如キ場合ニ於テハ、必スシモ個々ノ文書ノ番號ヲ各事項毎ニ記入スルコトナク、直接ニ該當セル事項ニノミ之ヲ收メ、他ノ事項ノ下ニハ參照トシテ關係密接ナル

事項ノ番號ヲ附記シ、事項全體トシテ兩者關聯ヲ有スルコトヲ示シ置キタリ。尤モ一個ノ文書(一個ノ文書番號ノ下ニ收メタル主)ニシテ二個以上ノ事項ニ直接關係セルモノハ、各事項ノ下ニ繰返シ其ノ番號ヲ記載シ置キタリ。

一、抑モ純理ヨリセハ、或時期ニ於テ行ハレタル處置ハ、何レモ當時ノ諸事情ヲ考慮ノ上又ハ少クトモ當時ノ雰圍氣ノ下ニ行ハレタルモノナル意味ニ於テ、各文書ハ厚薄ノ差コソアレ、何レモ精神的ニ相互ニ關聯ヲ有スト認メ得ヘク、今研究ノ便宜上若干ノ事項ニ分ツトスルモ、其ノ分類ハ觀察點ノ如何ニヨリテ或ハ細密ニ或ハ包括的ニ繁簡各種ニ之ヲ行フコトヲ得ヘク、又各事項ニ關係アル文書ノ撰擇ニ關シテモ種々ノ見解ヲ豫想シ得ヘシ。從ツテ本索引ノ如キハ研究ニ對スル單ナル一助トシテ作成シタルモノニ過キサレナリ。

附錄四 大日本外交文書第一卷事項別索引

目次

- 一 德川慶喜ノ大政奉還及其ノ御允許ニ關スル件……………一
- 二 德川慶喜ノ將軍職辭職ニ關スル件……………一
- 三 德川慶喜ト外國公使トノ會見ニ關スル件……………一
- 四 萬機御親裁及外交事務ノ幕府ヨリ新政府ヘノ推移ニ關スル件……………二
- 五 外國公使ノ謁見ニ關スル件……………二
- 六 官制ノ制定及其ノ改正ニ關スル件……………三
- 七 外國トノ國交ニ關スル國策ノ決定及其ノ宣明ニ關スル件……………三
- 八 東京行幸ニ關スル件……………三
- 九 即位式、天長節及改元ニ關スル件……………三
- 一〇 神戸事件……………四
- 一一 堺事件……………四

一二	參内途上ノ英吉利公使襲撃事件	五
一三	長崎ニ於ケル英吉利軍艦水夫殺害事件	五
一四	東久世通禱ト普魯西代理公使トノ行列間ノ事故ニ關スル件	五
一五	外國人ニ對スル暴行禁止ノ布告ニ關スル件	五
一六	神戸ニ於テ亞米利加合衆國商船水夫暴行事件	六
一七	戊辰騷擾及之ニ對スル各國ノ態度(局外中立)ニ關スル件	六
一八	「ストーンウォール」號引取ニ關スル件	七
一九	和蘭人「スネル」ト庄内藩トノ武器賣渡ニ關スル件	七
二〇	横濱在留外國人保護ノ爲外國兵ノ市中駐屯ニ關スル件	七
二一	榎本釜次郎等ノ品川脱走及箱館占據ニ關スル件	七
二二	條約改正ニ關スル件	八
二三	瑞典及諾威國トノ修好通商及航海條約締結ニ關スル件	八
二四	西班牙國トノ修好通商及航海條約締結ニ關スル件	八
二五	獨逸北部聯邦トノ修好通商航海條約締結ニ關スル件	九

二六	奧地利洪牙利國トノ修好通商航海條約締結ニ關スル件	九
二七	幕府ノ露西亞國ト締結セル新定約書決定ニ關スル件	九
二八	朝鮮國ト佛蘭西國トノ紛議調停ノ爲使節派遣ノ件	九
二九	朝鮮國トノ通交ニ關スル件	九
三〇	布哇國トノ修好ニ關スル件	九
三一	墨西哥銀ト一分銀トノ引替及貨幣鑄造ニ關スル件	〇
三二	金札(紙幣)發行ニ關スル件	〇
三三	蠶卵紙一枚ニ付銀三匁ノ課税ニ關スル件	〇
三四	茶及生絲ノ輸出税改訂ニ關スル件	〇
三五	銅輸出方法改正ニ關スル件	一
三六	横濱ニ於テ外國人トノ賣買品ニ對シ從價税賦課ニ關スル件	一
三七	外國人ノ銃獵ニ關スル件	一
三八	大坂開港ニ關スル件	一
三九	東京開市ニ關スル件	一

四〇 神戸居留地ニ關スル件……………二二

四一 新潟開港ニ關スル件……………二二

四二 横濱居留地取締長官及同居留地道路修復掃除ニ關スル件……………二二

四三 外國人ノ密貿易取締ニ關スル件……………二三

四四 外交關係其ノ他ノ官吏任免ニ關スル件……………二三

四五 外國外交官及領事官ノ任免又ハ着離任ニ關スル件……………二三

四六 耶蘇教問題ニ關スル件……………四四

四七 浦上村耶蘇教徒ニ對スル處置ニ關スル件……………四四

四八 亞米利加人「ヴァン、リード」ノ布哇出稼人ヲ無免許出航セシメタル事件……………四四

四九 蝦夷地開拓ニ關スル件……………四五

五〇 樺太問題雜件……………四五

五一 英吉利軍艦「ラットレル」號難破救助ニ關スル件……………五五

附錄四 大日本外交文書第一卷事項別索引 目次 終

附錄四 大日本外交文書第一卷事項別索引

一 徳川慶喜ノ大政奉還及其ノ御允許ニ關スル件 (事項二、三及二九參照)

第一冊 一、 二、 三、 四、 一〇、 一一、 一二、 一三、 一四

一五、 一六、 一七、 二四、 二六、 二七、 二八、 二九、 三三、 四一

四三、 四四、 四五、 四六、 四七、 四八、 四九、 五一、 五二、 五六

六五、 六九、 七〇、 九九、 一〇三

二 徳川慶喜ノ將軍職辭職ニ關スル件 (事項一參照)

第一冊 一九、 二三、 三六、 三七、 三八、 三九、 四〇、 四二、 五六

五七、 五八、 五九、 六八、 七六

三 徳川慶喜ト外國公使トノ會見ニ關スル件 (事項一、四及一七參照)

第一冊 六〇、 六一、 六二、 六三、 六四、 六五、 六六、 六七、 六九

七〇、 七一、 七二、 七七、 八四、 九三、 九四、 一〇六

四 萬機御親裁及外交事務ノ幕府ヨリ新政府ヘノ推移ニ關スル件

(事項三、五、六、一七、二八、二九、四四及四五參照)

- 第一冊 二、 三、 五、 六、 七、 八、 九、 一八、 二二、
二五、 三二、 三三、 三四、 三五、 五三、 五六、 六五、 六九、 七〇、
八五、 九五、 九九、 一〇〇、 一〇一、 一〇三、 一〇五、 一一二、 一一九、 一二五、
一四七、 一五八、 一五九、 二〇五、 二一一、 二三二、 二四四、 二四五、 二四六、 二五五、
二六四、 二六六、 二七九、 二九八、 二九九、 三〇〇、 三〇一、 三四六、 三五九、 三八二、
三九五、 四一六、 四三五

第二冊 四九七、五〇三、五〇九、五二一、五二三、六九一、六九八、七〇五、七〇六

五 外國公使ノ謁見ニ關スル件 (事項四七及八參照)

- 第一冊 一〇三、一四〇、一四七、一四八、一五八、一五九、一六六、一七五、一七八、
一九六、一九七、一九八、一九九、二〇二、二〇五、二〇六、二〇八、二一〇、二一一、
二五九、二六〇、二七三、二七四、二七八、二七九
- 第二冊 五八七、六一一、六五七、六六〇、六六二、六六三、六六四、六六五、六六六

- 六六七、六七二、六七三、六七六、六七七、六七八、六七九、六八〇、六八一、六八二、
六八四、六八八、六八九、六九〇、六九一、六九二、六九三、六九八

六 官制ノ制定及其ノ改正ニ關スル件 (事項四及四四參照)

- 第一冊 五〇、 五六、 八九、一〇四、一三〇、三〇八、三四〇
- 第二冊 四八〇、六〇五

七 外國トノ國交ニ關スル國策ノ決定及其ノ宣明ニ關スル件 (事項五、一〇、一一、

一二、一五及二九參照)

- 第一冊 九七、 九八、 九九、一〇三、一一二、一四〇、一四七、一四八、一五八、
一五九、一六六、一九八、二〇一、二〇五、二一一、二三四、二三八、二四五、二七九
- 第二冊 六九一、六九八、七〇五、七〇六

八 東京行幸ニ關スル件 (事項五參照)

- 第二冊 四九五、五〇六、五二二、五七六、五八六、六一二、六一三、六二一、六九一、
六九八、七〇三

九 即位式、天長節及改元ニ關スル件

第二冊 五五二、五六三、五六四、五六六

一〇 神戸事件 (事項七及一七参照)

第一冊 八七、八八、九六、九九、一〇二、一〇三、一〇七、一〇八、一一〇

一一一、一一三、一一四、一一八、一二三、一二四、一二六、一二七、一二八、一二九

一三一、一三二、一三三、一三四、一三九、一四一、一四二、一四三、一四四、一四六

一七一、一九一、二四〇

第二冊 五一〇、五一一

一一 堺事件 (事項七及一七参照)

第一冊 一四九、一五〇、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一六〇

一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇

一七二、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二

一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九二、一九三

一九四、一九五、一九六、一九七、二〇〇、二〇三、二〇四、二一七、二二〇、二四八

二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五五、二五六、二五七、二七六、二八〇

三六一、三六二、三六九、三九二

第二冊 五二七、五二八、五五四

一二 参内途上ノ英吉利公使襲撃事件 (事項七、一五及一七参照)

第一冊 二〇六、二〇七、二〇九、二一一、二二三、二二四、二二五、二二八、二二九

二二二、二二三、二二五、二二八、二二九、二三〇

第二冊 四八八、五四〇、五四五、五七五、五七八

一三 長崎ニ於ケル英吉利軍艦水夫殺害事件

第一冊 三一八、三一九、三二〇、三二一、三三二、三三八、三四二

第二冊 五〇一、五〇七、六二二、六二三、六四三、六七四

一四 東久世通禧ト普魯西代理公使トノ行列間ノ事故ニ關スル件

第二冊 四六〇、四六四、四六五、四六六、四六七、四六九、四七五、四七六

一五 外國人ニ對スル暴行禁止ノ布告ニ關スル件 (事項七及一二参照)

第一冊 二〇六、二〇九、二一二、二一六、二二二、二三一、二三三、二三五、二三七

一三八、二三九

一六 神戸ニ於テ亞米利加合衆國商船水夫暴行事件

第二冊 五六二、五六七、五七〇、五八五、六〇四

一七 戊辰騷擾及之ニ對スル各國ノ態度局外中立ニ關スル件 (事項三、四、一〇、

一一、一二、一八、一九、二〇、二一及四一參照)

第一冊 五四、五五、五六、六〇、六一、六二、六三、六四、六五

六六、六七、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七七

七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、九〇

九一、九二、九三、九四、九五、九九、一〇〇、一〇一、一〇三、一〇六

一〇九、一一五、一一六、一一七、一一九、一二〇、一二一、一二五、一三五、一三六

一三七、一三八、一五一、一七五、一七六、一九〇、二〇一、二〇六、二三二、二四二

二四三、二四四、二五四、二八七、二九六、三一五、三一六、三二三、三二四

三二七、三二八、三三六、三五三、三六三、三七〇、三七三、三七六、三八二、三八三

三九五、四一六、四二八、四四四

第二冊 四五四、四六八、四七九、四八一、四八二、四八四、四九〇、四九四、四九七

五〇三、五〇九、五一二、五一三、五二〇、五二一、五二三、五二九、五三〇、五四一
五四七、五五六、六一四、六二〇、六二七、六三三、七〇三、七〇九、七一〇、七一
七一三、七一六、七二〇、七二一、七二九、七三一、七五三

一八 「ストーンウォール」號引取ニ關スル件 (事項一七參照)

第一冊 三〇三、四二〇、四二四

第二冊 六二四、六二六、七五三

一九 和蘭人「スネル」ト庄内藩トノ武器賣渡ニ關スル件 (事項一七參照)

第二冊 四九〇、五三三、五八九、五九〇、五九二、六〇〇、六〇三、六〇八、六二五

六三一、六三二、七〇一

二〇 横濱在留外國人保護ノ爲外國兵ノ市中駐屯ニ關スル件 (事項一七參照)

第一冊 三二五、三二九、三三〇、三三三、三三四、三三五、三四一、三七一、三七二

三七五、三八五、三九六、四〇三、四一二

第二冊 四八三、四九二、四九八、五一九、六七一、六九六

二一 榎本釜次郎等ノ品川脱走及箱館占據ニ關スル件 (事項一七參照)

第二冊 五三八、五三九、五四二、五四六、六三五、六三六、六六一、六七五、六八三
六九四、六九五、七一一、七一九、七二二、七二五、七二七、七二八、七四一、七五五
七五六

二三 條約改正ニ關スル件 (事項三四參照)

第一冊 九七、一五九

第二冊 七三六、七四三、七四五、七四七、七五一、七五七

二三 瑞典及諾威國トノ修好通商及航海條約締結ニ關スル件

第一冊 二二四、三八一、三九三、四四一

第二冊 四六二、四六三、五一六、五三七、五四四、五四九、五五〇、五五一、五六九
五七一、五七九、七〇八、七三五

二四 西班牙國トノ修好通商及航海條約締結ニ關スル件

第一冊 四三六、四三九、四四〇、四四七

第二冊 四五〇、四七七、四八六、五〇四、五〇五、五一七、五一八、五二六、五三二
五五八、五五九、五六〇、五六八、五七二、五七四、五七七、五八〇

二五 獨逸北部聯邦トノ修好通商航海條約締結ニ關スル件

第二冊 五五三、五五七、六〇六、六二八、七三三、七四三、七四五、七四七、七五〇
七五二

二六 奧地利洪牙利國トノ修好通商航海條約締結ニ關スル件

第二冊 五六一

二七 幕府ノ露西亞國ト締結セル新定約書決定ニ關スル件

第二冊 六四八

二八 朝鮮國ト佛蘭西國トノ紛議調停ノ爲使節派遣ノ件 (事項四參照)

第一冊 二〇、二一、三〇、三一

二九 朝鮮國トノ通交ニ關スル件 (事項一、四及七參照)

第一冊 二四五、二四六、二八八、三五五、四三五

第二冊 七〇五、七〇六

三〇 布哇國トノ修好ニ關スル件

第二冊 五八四

三一 墨西哥銀ト一分銀トノ引替及貨幣鑄造ニ關スル件

- 第一冊 一七三、二二二、二二六、二三六、二四一、二六七、二八五、二九一、二九二
二九三、二九四、二九五、二九七、三〇二、三〇九、三一〇、三三一、三三七、三五〇
三九九、四〇〇、四〇一、四〇五、四〇六、四〇七、四〇九、四一〇、四一三、四一四
四一七、四一八、四二一、四二二、四二五、四二六
第二冊 四五五、四五六、四六一、四七〇、四七三、四七四、五〇〇、五〇二、五一四
五二四

三二 金札(紙幣)發行ニ關スル件

- 第二冊 六〇一、六〇九、六三〇、七三九

三三 蠶卵紙一枚ニ付銀三匁ノ課稅ニ關スル件

- 第一冊 三七八、三八七、三九七、三九八、四二九、四三一
第二冊 四五七、四七一

三四 茶及生絲ノ輸出稅改訂ニ關スル件 (事項ニ參照)

- 第一冊 四四九

- 第二冊 四五二、四五三、四五八、四八五

三五 銅輸出方法改正ニ關スル件

- 第一冊 二五八
第二冊 四七二

三六 横濱ニ於テ外國人トノ賣買品ニ對シ從價稅賦課ニ關スル件

- 第二冊 六三七、六四五、六四六、六四九、六五三、六五八、六五九、六八五、七三八
七四〇、七六〇

三七 外國人ノ銃獵ニ關スル件

- 第二冊 六一二、六一三、六二一、七一二、七四四

三八 大坂開港ニ關スル件

- 第一冊 三二二、三八四、四〇二、四〇八、四一一、四一九、四二七、四三三、四三四
四三七、四四二、四四五、四四六、四四八
第二冊 四五九、四七八、四九六、五三一、五三六、六〇二、六〇七

三九 東京開市ニ關スル件

第一冊 二二二、三八四

第二冊 五八一、五八二、五八三、五八八、五九一、五九四、五九五、五九六、五九七
五九八、六一五、六一六、六二九、六三八、六三九、六四二、六五〇、六五一、六五四
六六八、六六九、六七〇、七一七、七三〇、七三四

四〇 神戸居留地ニ關スル件

第一冊 二二二、四二七、四三三、四三四、四三七、四四二、四四五、四四六、四四八
第二冊 四五九

四一 新潟開港ニ關スル件 (事項一七參照)

第一冊 二二二、三四四、三四五、三四七、三四八、三五一、三五六、三六四、三六五
三六六、三六七、三六八、三七八、三八七、三九七、三九八、四〇四、四一五
第二冊 四八一、四八二、四八四、四九〇、四九四、五一二、五一三、五二〇、五四七
六四〇、六四一、六四二、六五二、六五五、六七〇、七一四、七一一、七二三、七二四
七三二、七三四、七四九、七五九

四二 横濱居留地取締長官及同居居留地道路修復掃除ニ關スル件

第一冊 二八一、二八九、三〇七、三一二、三二三、三三九、三四三、三五二、三五七
三五八、三七四

四三 外國人ノ密貿易取締ニ關スル件

第一冊 三一四、三一七

第二冊 四八一、四八二、四八四、四九四、五一二、五一三、五二〇、五四七、六八六

四四 外交關係其ノ他ノ官吏任免ニ關スル件 (事項四及六參照)

第一冊 一〇四、一〇五、一〇九、一一二、一一九、一三〇、一四五、二三二、二四二
二四三、二四四、二四五、二六二、二六四、二六六、二九八、二九九、三〇〇、三〇一
三〇五、三六〇、三八八、三八九、三九〇、三九一、三九四、四二三、四三八
第二冊 四六二、五一七、五一八、五四四、五九九、六一八、六二八、六四四、七〇四
七二四、七三二

四五 外國外交官及領事官ノ任免又ハ着離任ニ關スル件 (事項四參照)

第一冊 二二三、二二四、三四九、三五四、三七九、三八〇、三八一、四三〇、四三六
四三九

第二冊 四八七、四九三、五〇八、五一五、五二五、五三四、五三五、五四八、五五三
五五七、五六一、五七三、五七七、五九三、六一七、六一九、六四二、六四七、六五六
七〇七、七〇八、七一四、七一五、七二七、七二三、七二六、七三〇、七三四、七三五
七四六、七五八

四六 耶蘇教問題ニ關スル件 (事項四七參照)

第一冊 二三八、二八二、二八三、二九〇
第二冊 七〇〇、七〇二、七四八

四七 浦上村耶蘇教徒ニ對スル處置ニ關スル件 (事項四六參照)

第一冊 三〇六、三七七、三八六、四三二
第二冊 六八七、六九七、七〇〇、七〇二、七三七、七四八、七五四

四八 亞米利加人「ヴァン・リード」ノ布哇出稼人ヲ無免許出航セシメタル事件

第一冊 二六一、二六三、二六五、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七五
二七七、二八四、二八六、三〇四、三二六
第二冊 四八九、四九一、四九九、六九九

四九 蝦夷地開拓ニ關スル件

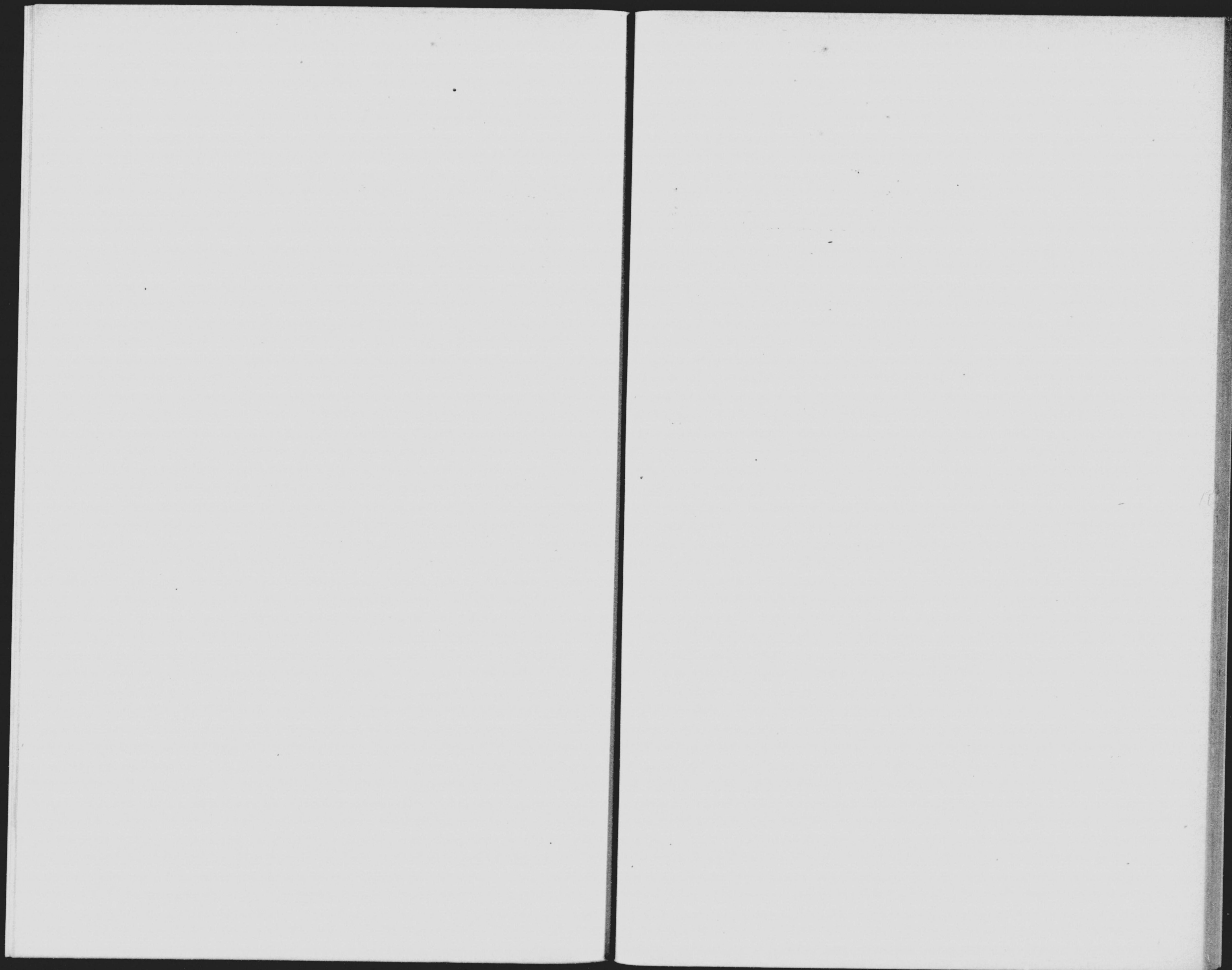
第一冊 二二七、二四七

五〇 樺太問題雜件

第一冊 一二二、四四三
第二冊 五四三、五六五

五一 英吉利軍艦「ラットレル」號難破救助ニ關スル件

第二冊 五五五、六一〇、六三四、七四二



昭和十一年十月九日印刷
昭和十一年十月十四日發行

大日本外交文書第一卷第二册
定價 八圓

外務省調查部編纂
外務省藏版

發行者 赤松祐之
印刷者 中川二郎
印刷所 東京市芝區南佐久間町一ノ七
研文社

發行所

東京市麴町區丸ノ内二ノ十二
社団法人 日本國際協會

振替東京五五一八三番
電話(23)四四六六四番
四九三三五番

(銀座・河上製本)

大日本外交文書第一卷第二册正誤表

頁番號	行	誤	正	頁番號	行	誤	正
七四五二	本	五文 stipulations	stipulations	一五四五	見	三出 締結ノ交渉ハ東久世	締結ハ東久世
一一四五四	本	二文 強暴之來者	強暴之來者	一五九二	本	四文 drifven to keer	drifven te keer
二九四六三	本	三文 antessellen	antessellen	一六一二〇	附屬書	九書 ven	van
三〇四六三	本	五文 Zaken.	Zaken	一八五五	見	五出 七月十一日付	七月十一日附
三〇四六三	本	六文 Van	van	二二七五	見	三出 外國官權判事試補	外國官判事試補
四三四六八	本	八文 相成候ニ御沙汰	相成候ニ付御沙汰	二三四五	附屬書	三出 且命シテ	且命シテ
四五四七〇	見	一 東久世中將	東久世通禧	二二九五	見	三出 受ケタル謝意	受ケタルニ付謝意
四九四七三	本	一文 御手紙致被見	御手紙致披見	二六五五	本	三出 Noorwegesche	Noorwegesche
五五四七七	本	柱 四七八	四七七	二六五七	本	一六文 Gevolnagigde	Gevolnagrigde
五六四七七	本	柱 四七八	四七七	自二八二	本	一文 本號文書ニ記載ノ「開港場」「仕出シ場」ノ	「開港場」「仕出シ場」ノ
一一三四九六	本	柱 (九月十四日)	(九月十五日)	至三〇四	本	二下段 文字中場トアルハ全部場ニ訂正ス	訂正ス
一一四四九六	本	柱 (九月十四日)	(九月十五日)	二八七五	本	二下段 Regerin	Regering
一一三三〇八	本	四文 Александрa,	Aлексаидрa	二八七五	本	二下段 gbehooren	behooren
一一三三〇八	本	八文 nocrenia.	nocrenia.	三四七五	本	一〇段 route	routes
一四七五二	本	一〇文 Volkerechts	Völkerechts	三五七五	本	七段 開港場	開港場
				三六九五	本	一段 essayant	essayant

頁番號	行	誤	正	頁番號	行	誤	正
三八五五八〇	本文下段	イミテイシヨナラスチン	イミテイシヨナラスチン	六九〇七〇四	見出	知事	外國官知事
四二三五八五	本文	七グフレーションオルレンス	グフレーションオルレンス	六九〇七〇五	本文	岩倉公實記ニ載スル本號文書ニハ宛名ハ「禮曹參判公」トアリ且ツ終ヨリ二行目「不可容易改者」ヨリ上ニ「有」ノ字アル處明治二年十一月朝鮮訓導ヨリ本先問書與中ニ字句ノ異例ナルモノアリトテ難シ來リタル疊ノ中ニ「禮曹參判公」ノ厚誼所存(則ノ字ハナシ)有不可容易改者ノ交辭ヲ掲ケアリテ岩倉公實記記載ノモノト一致シ居レリ	
四二五五八五	本文	有之儘	有之儘				
四五九六〇四	見出	十月十六日 (十一月二十九日)	十月六日 (十一月十九日)				
四六九六〇八	本文	mitgevoerd.	mitgevoerd.	六九六七〇六	編者註二	事實先方ニ達シタルヤ否	事實先方ニ達シタルモノナリヤ否
四七〇六〇八	本文	Contract	contract	六九七七〇六	附一〇記	貼金公屏風	貼金小屏風
四七二六〇八	本文	wapenen	wapenen	六九八七〇七	本文	L. T.	L. T.
四七四六〇八	本文	en	en	七二〇七一八	附一六記	脱籍之士	脱籍之士
四八三六〇九	本文	30. November	30. November	七四一七二一	本文	之思食	之思食
四八七六一〇	本文	國帝陛下(軍艦	國帝陛下軍艦	七五九七三四	本文	MAN. OUTREY	MAN. OUTREY
四八八六一〇	本文	余ハ	餘ハ	八〇六七五四	本文	朝廷	朝廷
五三五六三一	本文	アルリンドー氏	アルリンドー氏	八一六七五八	本文	Nederlandsch	Nederlandsche
五五六六四二	本文	ジョンフレデレックロデ	ジョンフレデレックロデ		附錄三三頁文	九文	元應
六一〇六八〇	見出	關スル件調査	關シ調査		六	幕府老中	舊幕府老中
六一一六八五	本文	株ニ取立	株取立		四	幕府老中	舊幕府老中
六六七六九七	見出	耶蘇教徒探案書	耶蘇教徒探案書		四	幕府老中	舊幕府老中

昭和十一年十月九日印刷
昭和十一年十月十四日發行

不許
複製

發行所

東京市麴町區丸ノ内二ノ十二

日本國際協會

振替東京五五一八三番
電話(23)四六六四番
四九三五番

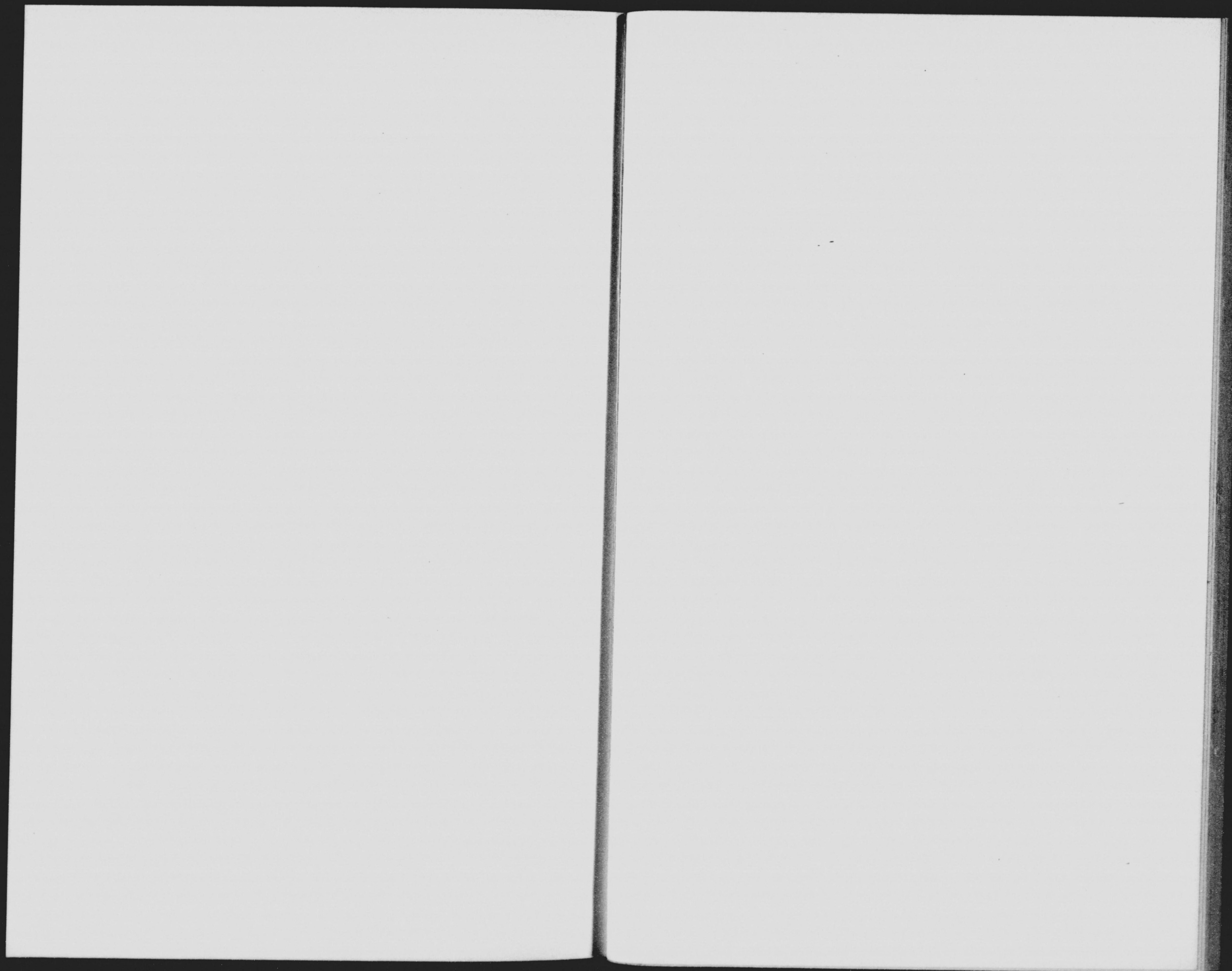
外務省調查部編纂
外務省藏版

發行者 赤松祐之
印刷者 中川二郎
印刷所 東京市芝區南佐久間町一ノ七 研文社

大日本外交文書第一卷第二册
定價 七圓

(銀座・河上製本)

H-66



IT4A-33

